

平成25年11月12日

うるま市長  
島袋俊夫様

うるま市行政改革推進委員会  
(補助金審査委員会)  
会長 照屋寛之

## 平成25年度うるま市補助金等に関する審査結果について

この度、うるま市行政改革推進委員会規則第2条第3項及びうるま市補助金制度に関する指針に基づき、うるま市が行う補助金等について審査を行ったところでありますが、審査委員会としての提言を別紙「平成25年度うるま市の補助金等に関する審査結果について」のとおり取りまとめましたのでここに報告いたします。

平成25年度

うるま市の補助金等に関する審査結果について

平成25年10月

うるま市補助金審査委員会

## 目 次

第1	審査の対象と方法	1
	審査の対象	
	審査方法	
第2	審査結果概要	2
	総括	
	総合評価内訳	
第3	個別審査結果	4
◇	付属資料	10

# 第1 審査の対象と方法

## 1 審査の対象

前年度同様、すべての部署の補助金等を対象に、事務局が調製したリストの中から各委員が2点をピックアップし、委員会で最終選定した10件の補助金等を対象に審査した。ただし、以下のものを除く。

- ・出席者負担金
- ・法令（市条例は除く）に定めのある負担金

## 2 審査方法

審査結果を新年度の予算編成に反映させるため、10月までに審査を終えることにした。

審査は個別の補助金等について、事前に事務事業評価票（補助金交付型）、事業報告書、決算書等の資料の提出を求め、担当部署ごとにヒアリングを実施し以下の要領で行った。

- ①「うるま市補助金制度に関する指針」に定める「交付基準」を踏まえ評価を行い、「見直し基準」により方向性を判断する。
- ②審査対象補助金を1回あたり、5件を目途に審査する。
- ③審査では、補助金審査票（事務事業評価票・補助金交付型）及び関連資料を基に担当課ヒアリングを実施する。ヒアリングは、うるま市補助金制度に関する指針に示した補助金交付基準（1. 事業の公共性、2. 事業の効果性（有効性・効率性・適時性）、3. 団体等の適格性など）に基づき、市民の視点から補助の必要性、額の妥当性等を検証する。
- ④上記審査に基づき、委員会としての総合評価（A、B、C、D）を決定し、その理由や意見、見直しの方向性等を取りまとめる。

## 第2 審査結果概要

### 1 総括 . . . . .

うるま市における補助金等のあり方について、市民の目線で審査を行うために当委員会が設置され、今回で7度目の審査となった。市民の立場から補助金等を確認していくことは行政改革として大変重要なことであり、補助金等が設定された趣旨や、時代の流れの中で本当に相応しいのか、常に検証していく必要がある。

今回、各委員が2点ずつピックアップした補助金等の中から、委員会で最終的に選定し、担当部署の事務事業評価票を基にヒアリングを行い、「うるま市補助金制度に関する指針（平成18年11月策定）」（以下、「指針」）に基づいて「本当に必要な補助金か」「額は妥当か」「運営上の課題はないか」の視点から審査を行った。審査の結果として、まず始めに総括的な指摘事項として以下のとおり提言する。

#### （1）補助金交付の再検討

今回の審査において、事業収入が安定的なため、補助金がなくても自主運営ができるとされる団体が数件みられた。団体の財政状況を鑑み、補助期間の終期を設定する等、補助金の縮小・廃止を検討していただきたい。

従来通りの補助金交付を続けると、補助金が必要な団体に配分できなくなり、需要のある新たな事業に補助ができない可能性もある。担当部署や団体は補助金の使途を前例踏襲ではなく、今必要なことは何かを見通し、実用的な新たな取り組みを導入し、市民のニーズに応えられる事業の推進をしていただきたい。

#### （2）明確な目的への補助

社会の変化により、補助団体の目的・取り組みが今の時代と合わないこともある。担当部署と補助団体は、目的を明確にし、どのような事業を行い、どのようにしたら目的が達成できるのかを常に考える必要がある。

真に補助すべき事業なのか。目的に沿った事業、団体運営がなされているか。担当部署はしっかりと精査した上で、補助金を交付するよう努めていただきたい。

#### （3）補助団体への提言

会員が団体に入るメリットを感じていない理由から会員が減り、運営の厳しい団体も見受けられた。団体に入るメリットがあるのか、と会員から疑問が生じていることに大きな問題があると思われる。

補助金があることで運営が成り立つ状況もあることから、事業がマンネリ化したまま継続されているように見受けられる部分もある。常に計画の内容を見直し、効果的な事業を実施することが重要である。

また、時代の流れから、団体も補助金だけでなく、自助努力をしていくことが必要な時期となっている。自主事業を実施し、補助金に頼らない自主的・自立的な運営をしていく方策を講じていただきたい。

#### **(4) 他団体との連携**

市民が納得できる補助金の使われ方がされるには、市民のニーズに合った事業に対し補助する必要がある、担当部署も地域の意見・要望を聞くことが重要である。

また、より効果的な補助金とするためには、多角的な視点を持つことが大切である。ひとつの団体だけでなく、地域や他の団体と連携し、協働するような事業展開が図られるよう、積極的に働きかけを行っていただきたい。

#### **(5) 改善事項の確実な実施**

前回の審査で指摘事項があったにもかかわらず、いまだ改善の様子が見られないものもある。前回同様、これまで行ってきた審査対象補助金等に対する審査委員会の意見がどのように反映されたか、改善されたか確認する必要がある。担当部署においては審査委員会の意見を真摯に受け止めて、意識改革を図るとともに、確実に改善していただきたい。

#### **(6) まとめ**

今回の審査で、指摘事項の改善が図られていないものや審査結果が予算に反映されていないものがみられた。審査委員会の評価を次年度の予算に反映させたい思いがあり、その対応を引き続き求めていく。

担当部署は、補助金を交付するにあたり、補助金額は適正か、補助金の使途に目的があるか、また効果が期待できるか等、常に確認しながら事務を進めていただきたい。

審査対象事業の中には、将来に向けて充実する必要があるものもあり、効果が市民にとって広く波及できるよう、積極的な事業推進を行っていただきたい。

また、補助金等を活用した各種事業については、運用面で改善を要するものが見受けられた。審査委員会の意見や先進事例を参考とし、多角的な視点によるアイデアから、効果的な事業を推進していただきたい。

## 2 総合評価内訳・・・・・・・・・・・・・・・・

- A：更に充実させる方向で見直し・・・・・・・・ 2件
- B：現状のまま継続・・・・・・・・ 2件
- C：効率化・コスト削減の方向で見直し・・・・ 4件
- D：縮小・廃止を前提とした見直し・・・・ 2件

## 第3 個別審査結果

### うるま市グッジョブ連携協議会負担金【企業立地雇用推進課】・・・・・・・・

#### 「うるま市グッジョブ連携協議会負担金」の評価のまとめ

##### 総合評価

A：さらに充実させる方向で見直し

##### 具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

学校や企業と連携をとり、子どもたちの将来に向けたキャリア教育に関する事業をさらに充実させる必要がある。失業率の低下につなげていくため、国の補助事業を活用しながら、継続していただきたい。

子どもたちの仕事に対する就業意識づくり、将来の夢を持つきっかけづくりが目的ならば、子どもたちにとって身近なことから体験する手法に特化して取り組むことも重要だと考える。

さらに充実した雇用対策に努力していただきたい。

うるま市シルバー人材センター運営補助金【企業立地雇用推進課】・・・・・・・・

「うるま市シルバー人材センター運営補助金」の評価のまとめ

総合評価

D：縮小・廃止を前提とした見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

高齢者の働く場を確保する事業に対し、高く評価している。しかし、センター資金規模や経営状況は安定しており、長期にわたり補助金交付を続けることは市民に理解が得られない。

各組織や団体の収支に応じて資金運用が図られるものであるが、シルバー会員と職員の待遇の差が大きいことに不満の声があるようだ。

自主・自立の運営を目指すために、3年を目途に補助金を廃止すべきである。

うるま市観光物産協会補助金【商工観光課】・・・・・・・・

「うるま市観光物産協会補助金」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

将来的には市の方針も考慮しながら、コストの効率化・削減の方向で見直していただきたい。

また、自主財源確保のため、うるま市の世界遺産「勝連城跡」や物産品等を様々な視点から上手く活用が図れるよう、担当部署は指導・連携を強化していただきたい。



うるま市商工会補助金【商工観光課】・・・・・・・・・・・・・・・・

「うるま市商工会補助金」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

市や県からの補助金がどのような運営費や事業費に充てられているのか分かりにくく、改善を図る必要がある。

また、商工会の会員になるメリットが実感できないのではないかと、結果的に会員組織率が伸び悩んでいることから、会員のニーズを見通し、会員のためになる効果的な事業展開を図ることが重要だと考える。

今後は、さらなる自立運営を目指すためにも、商工会議所の設立や組織改革の指導・助言を図っていただきたい。

うるま市プレミアム商品券振興補助金【商工観光課】・・・・・・・・・・・・・・・・

「うるま市プレミアム商品券振興補助金」の評価のまとめ

総合評価

B：現状のまま継続

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

特定の方のみが恩恵を受けることなく、広く市民が恩恵を受けられるよう、担当部署はしっかりと連携し、広報や配布の方法を工夫していただきたい。

他の施策・事業との連携や新しいアイディアの商品券活用なども検討していただきたい。

商品券の有効期間でどの程度の経済効果があったのか、数値にして表さないとわかりにくいため、次年度は効果が見えるように改善していただきたい。

## 中部地区老人クラブ連合会負担金【介護長寿課】・・・・・・・・・・

### 「中部地区老人クラブ連合会負担金」の評価のまとめ

#### 総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

#### 具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

本市より人口の多い市に比べ、うるま市の負担金額が大きいことに疑問がある。負担金額について市と町と村を分けて一律にするなど、不公平感の解消を図る必要があるのではないかと。

また、予算に対する人件費の割合が高く事業費の割合が少ない。会員がメリットを感じる組織の見直しが必要であると考え。誰もが気軽に参加でき、交流が深まる事業内容や方法の見直しを行うことも必要ではないかと。

担当課は理事や事務局に対し、改善が図られるよう、常に働きかけていただきたい。

## うるま市子ども会育成者連絡協議会補助金【生涯学習振興課】・・・・・・・・・・

### 「うるま市子ども会育成者連絡協議会補助金」の評価のまとめ

#### 総合評価

D：縮小・廃止を前提とした見直し

#### 具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

スポーツクラブや塾等子どもたちの活動場所が社会の中で増えているため、子ども会への参加が少なくなっている。子ども会自体の活動が困難な状況において、地域の子ども会をまとめる連絡協議会が必要なのか、根本から見直す必要がある。

担当部署と補助団体は、協議の場を設け、検討していただきたい。

## 学力向上対策委員会補助金【指導課】・・・・・・・・・・・・・・・・

### 「学力向上対策委員会補助金」の評価のまとめ

#### 総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

#### 具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

学力テストの実施は必要であるが、学力向上のためには、まず、基本的な生活習慣を身につけることが非常に重要であり、生活環境を改善する対策を家庭と連携し図っていただきたい。

補助金額が各学校に配分されると額が小さくなり、効果があるのか疑問である。補助金を配分せず、先生方を学力向上に取り組んでいる先進地へ派遣する等、別の使途も検討していただきたい。

学校教育の運営費と何ら変わらない補助金の使われ方が、一部見受けられる。目的や意図に沿って、真に補助すべき内容なのか精査・見直しを行っていただきたい。

## うるま市放課後児童健全育成事業（学童クラブ）補助金【児童家庭課】・・・・・・・・

### 「うるま市放課後児童健全育成事業（学童クラブ）補助金」の評価のまとめ

#### 総合評価

B：現状のまま継続

#### 具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

親の共働き世帯が多い沖縄の地域特性から、学童クラブへの補助は必要性が高い。しかし、子どもたちの安全面を考慮すると、送迎は1つの学校に対し、2つの学童クラブまでとする、学校の空き教室を活用するなど、環境、人員、経費の面からより効率的な運用改善を図る必要があると考える。

子どもたちのより良い環境づくりのため、学習指導のできる指導員の配置や高齢者の活用を望むところであり、学校、地域、自治会とも継続的に連携し、積極的な取り組みを推進していただきたい。

今後も、保護者のニーズや負担軽減に応え、さらなる児童健全育成、学童クラブの充実に努めていただきたい。

「うるま市自主防災組織育成事業」の評価のまとめ

**総合評価**

A：さらに充実させる方向で見直し

**具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等**

地域が自主的に防災組織を育成し、防災意識を高めていくことは大切であり、この種の事業は高く評価する。

津波等の災害は広範囲に起こるため、自主防災組織だけでなく、消防団や様々な団体等も活用・連携し、総合的な防災への取り組みを積極的に推進していただきたい。

全自治会の自主防災組織の結成が望ましい。一方、結成した自治会においては、資機材等を常時扱えるようにすることも重要である。担当部署は積極的な働きかけに努めていただきたい。

## ◇付属資料

### うるま市補助金審査委員会委員名簿

	区 分	氏 名	役 割 等
1	委員長	テ ル ヤ ヒ ロ ユ キ 之 照 屋 寛 之	学識経験者
2	副委員長	イ ハ ヒ ロ シ 洋 伊 波 洋	市民代表
3	委 員	フ ク ハ ラ ト オ ル 徹 福 原 徹	市民代表
4	委 員	ナ カ チ ハ ジ メ 一 仲 地 一	市民代表
5	委 員	オ ヤ ド マ リ マ サ ヨ シ 吉 親 泊 正 吉	市民代表
6	委 員	ト グ チ ヒ ロ ユ キ 之 渡 久 地 博 之	公募委員
7	委 員	ナ ガ ハ マ ユ タ カ 豊 長 浜 豊	公募委員
8	委 員	チ ネ シ ミ ツ ノ リ 憲 知 念 光 憲	公募委員
9	委 員	イ ハ マ サ カ ズ 和 伊 波 正 和	公募委員
10	委 員	カ ワ モ ト ヨ シ ハ ル 春 川 本 芳 春	公募委員
11	委 員	ソ ノ サ キ カ ヨ コ 子 園 崎 香 代 子	公募委員
12	委 員	ガ キ ヤ サ ト シ 賢 我 喜 屋 賢	市民代表
13	委 員	イ ケ ハ ラ ト モ コ 子 池 原 ト モ コ 子	市民代表
14	委 員	カ ワ ノ エ ツ コ 子 川 野 エ ツ コ 子	市民代表
15	委 員	ヘ シ ザ ン カ ヨ コ 子 平 安 山 香 代 子	市民代表

## 平成25年度 うるま市補助金審査委員会審査経過

日 程	事 項	内 容
6月5日（水）～ 6月11日（火）	各委員による選定作業	補助金等の中から各委員2件ずつ選定
6月21日（金）	第1回行政改革推進委員会	補助金審査対象事業の選定
8月14日（水）	第1回補助金審査委員会	①「うるま市補助金審査委員会設置に関する方針」の確認 ②平成25年度補助金審査委員会日程等の確認 ③審査方法の確認 ④個別補助金について審査【5件】
9月18日（水）	第2回補助金審査委員会	①第1回委員会、議事録及び評価のまとめ確認 ②個別補助金について審査【5件】
10月16日（水）	第3回補助金審査委員会	審査結果報告書の作成
11月12日（火）	平成25年度補助金等に関する審査結果について	補助金審査結果を市長へ報告